

東京スタジアムの会場周辺及びアクセス検討PT（第2回）
議事概要

1 日 時

平成28年11月21日（月）10時00分～11時00分

2 場 所

都庁第二本庁舎31階 特別会議室27

3 出席者

PT委員	20名	
ワーキンググループ委員	28名	計 48名

4 概 要

(1) 開 会

(2) オリンピック・パラリンピック準備局次長挨拶

(3) 委員紹介（追加・変更）

(4) 内 容

①交通輸送調査結果の報告

東京スタジアムにおける大規模イベント実施時等の交通輸送調査（第1回 ラグビーテストマッチ、第2回 大規模コンサート、第3回 Jリーグ公式戦、第4回 イベント非開催時）の結果について、事務局から概要説明があった。

②交通輸送における課題及び対策の方向性

飛田給駅、多磨駅、自動車アクセス、多様な移動手段の確保、会場周辺のにぎわいや回遊の各項目について、事務局より、全4回の調査で抽出した課題及び対策の方向性に関する説明があった。

③今後のスケジュール

今後、交通輸送調査において2019年大会時の需要推計を行い、対策案を検討するとともに、会場周辺土地活用調査において、駐車場等の適地の検討を継続して実施し、これらの調査結果を踏まえて、年度末までにワーキンググループ及びPTを各1回開催する旨、事務局から説明があった。

(5) 質疑応答

各委員より、以下について意見・質問等があり、事務局から補足説明等を行った。

- ・ 平日試合開催時の鉄道における観客輸送と通勤通学輸送のバッティングへの対策
- ・ 多磨駅の利便性改善、安全対策
- ・ 観客来場時の出発地点の想定
- ・ 車両交通規制に係る一般の道路利用者や地元への配慮
- ・ 甲州街道等からの誘導の具体化
- ・ 甲州街道の乱横断の原因分析
- ・ イベント開催時の道路の混雑要因の検証
- ・ 平日試合開催時のシャトルバス車両の確保
- ・ シャトルバスの効率的なルート設定
- ・ シャトルバスの運行形態（無料か有料か）
- ・ 退場規制の実施など運営面での工夫による混雑緩和
- ・ 東京 2020 大会と連動した会場周辺の来場ルートのバリアフリー化
- ・ 地元市への早期の情報提供
- ・ 大会を活用した地元市の盛り上げ

以上